

北海道教育委員会「S-TEAM 教育推進事業」 令和6年度（2024年度）授業等改善セミナー

総合的な探究の時間実施報告



令和6年9月26日（木）に、「総合的な探究の時間の充実に向けて」をテーマとして、北海道岩見沢東高等学校を会場に「総合的な探究の時間の授業等改善セミナー」を開催し、全道から26名（会場12名、オンライン14名）の先生方が参加、講師・助言者として北海道大学大学院の篠原 岳司准教授をお迎えしました。当日は会場校での「GANTO ゼミ」（2学年の成果発表会）の開催日でもあり、会場校の取組や講師の講演、生徒の成果発表の様子等について紹介しますので、各学校の「総合的な探究の時間」の充実に向けて御活用願います。

実施状況

【説明：岩見沢東高等学校における 総合的な探究の時間】

北海道岩見沢東高等学校 桑原 正英 教諭
普通科改革支援事業教育コーディネーター 瀬尾 洋裕 氏

岩見沢東高等学校の「総合的な探究の時間」運営の中心として活躍されている桑原教諭と、普通科改革支援事業教育コーディネーターの瀬尾氏から、「総合的な探究の時間」における取組を説明していただきました。桑原教諭からは、生徒の特性から生徒の未来を見据え、多様な経験をさせることに重きを置いた3年間のカリキュラムについて、また、取組の充実に向けた外部機関との連携にはコーディネーターの働きが重要であることについて話していただきました。

瀬尾氏からは、コーディネーターとしての役割を果たすためには、職員と情報共有する時間や町に出て地域と関係を構築する時間が重要になることなど、日頃意識されていることについて話していただきました。



【講演：高大接続を意識した探究学習の要点】北海道大学大学院教育学研究院 篠原 岳司 准教授

篠原先生からは「総合型選抜」導入の目的、成果や課題等について説明いただきました。講演の中では、学力検査では見取ることができない「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」を各大学が重視する傾向があることや、「学ぶ人材の多様性を担保」するため「伸びしろ（本質を捉える能力）を感じられる人材」等に着目した選抜が展開されていること等について言及がありました。また私見として、高校での経験の違いが大学入学時の差異として現れており、具体的には、社会のことに問題意識をもち、実際に行動に移す行動意欲等が「総合的な探究の時間」で鍛えられているかどうかが大きいのではないかと、ということや、大学入学後に主体的に追究したいものがある学生を大学は求めており、そのような学生の方が、入学後の学ぶ意欲が高いという印象がある、と述べられました。これらのことから、教科学習での探究への土台の育成や、総合的な探究の時間における主体性の涵養、社会で活躍する大人など本物との出会いが重要になること、独創性や批判的思考を育成することを意識した教師の伴走や、協働や省察のプロセスを教育課程に位置付けることが必要になることなどが示唆されるなど、高大接続を意識して、「総合的な探究の時間」を推進させる必要性について理解が深まる内容でした。



【総合的な探究の時間成果発表会「GANTO ゼミ」（2学年）】

生徒は、質疑応答を含む発表8分、移動2分で、発表を9回繰り返しました。グループの誰もが発表・質疑応答できるよう、発表者以外は他の発表を参観するなどの工夫がされていました。

＜2024 GANTO ゼミ 研究テーマ（一部）＞

規格外野菜を使って食品ロスを減らそう	学校生活における給食の重要性
医師不足で廃院になる岩見沢を救う	鉄道を観光資源へ
岩見沢の廃校を使った経済効果	臓器移植と私たちの関わり方



【研究協議「課題の設定における工夫・改善」】

道立教育研究所 越前谷主査による「課題の設定における工夫」についての説明後、参加者はグループごとに①自校の「課題の設定」のための単元の紹介と課題の共有→②「課題の設定」における各校の課題の共通点を踏まえた協議課題の設定→③「課題の設定」における課題の解決方策、の順で研究協議を行いました。参加者からは「『少子化』や『貧困』など設定する課題が大きすぎると解決策が表現できないため、課題の要因を細分化して探究することが必要」、「教員が生徒の設定した課題を否定せず、生徒の発想を大切にしながら伴走支援することが重要」、「『研究計画書』の作成→『取材メモ』の作成、の順で生徒が探究を進め、その途中で担当教諭にプレゼンして進捗状況を把握・助言することが大切」など、課題設定における工夫・改善の方策について協議を深めました。

【助言】 北海道大学大学院教育学研究院 篠原 岳司 准教授

研究協議後には篠原先生から、「『調べ学習になりがち』と聞くことがあるが、「調べる」を徹底すれば、それは探究的なプロセスになる。調べる行為がどの程度の深さなのかを見てほしい。その結果を踏まえ、調べ学習を深めることも探究の充実には大切」、「アンケートで得られるデータはとても重要だが、アンケートをしても活用できないデータになることもある。事前指導でアンケートを取るための練習や勉強が大切」など、今後の探究活動の充実に向けての示唆をいただきました。

セミナー参加者の声

【参加者の声】

- 発表会までに生徒、先生方が取り組んだ様子等を垣間見ることができ、大変参考になった。
- 本校における発表や発表までの指導に関する改善に繋がるセミナーだった。ブラッシュアップに努めたい。
- 行政説明から研究指定校の取組の説明、探究活動の成果発表会に参加し、その後の研究協議をとおして情報共有でき、様々な気付きを得ることができた。

【アンケートの結果（一部）】

- 1 「探究的な学び」・「主体的・対話的で深い学びの充実」に関する理解は深まりましたか。
 - ・おおいに深まった 43.8% ・深まった 50.0%
- 2 今後の総合的な探究の時間の改善に繋がる内容でしたか。
 - ・おおいに役立つ 31.3% ・役立つ 62.5%

